

第 56 回 放送番組審議会 議事録

令和 8 年 4 月 8 日 (水)
株式会社有明ねっこむ

■第56回 放送番組審議会

- 1.開催日時 令和8年3月23日(月)16時00分～
- 2.開催場所 株式会社有明ねっとこむ 1階会議室
- 3.出席者 委員長: 石丸 智士
副委員長: 香山真理子
委員: 松崎 義和、城戸 久信、大石 教義、黒木 雄平
(全員出席計6名)
放送局: 納富 和由紀(代表取締役社長)
永江 美穂 (FMたんと局長)
中原 敬介 (FMたんと副局長)
荒木 はるか (放送番組審議会事務局)
- 4.議題 審議番組: 「What'sUp★有明高専」生放送
- 5.議事の内容
- 「3/8(金)に生放送した「What'sUp★有明高専」について審議していきます。音源について、まず事務局より概要を説明。
【放送局】本日お送りするのは、3月8日(金)に生放送いたしました「What'sUp★有明高専」です。通常は収録番組としてお届けしておりますが、毎年、5年生の卒業を記念して生放送を行っております。今回も特別に放送時間を15分拡大し、30分間の放送でお届け致しました。
通常であればミキサーの操作も生徒の皆さんが担当しますが、今回はスタジオ移設の都合によりミキサー操作はFMたんとスタッフが担当し、生徒の皆さんはトークに専念されました。
 - 実際の音源を聴き、各委員から審議番組に関する意見、それを受けて放送局からの発言があった。内容は以下の通り。
【委員】同級生同士のフランクな会話がとても良いですね。ですが、「生放送をさせていただいている」といった発言は学生さんには合わないですね。
【委員】5年ラジオで話しているだけあって、とても上手ですね。言葉も素直で学生にこのラジオで話す機会を与えているのは

地域貢献としてもとても良いことですね。

- 【 委 員 】今回話している3人以外にもパーソナリティはいますか？5年生という事なので20歳なんですね。しっかりとした話し方だなと思いました
- 【 放 送 局 】パーソナリティは他にもいますが、今回はスタジオに3人までしか入れなかったのがこの人数になりました。
- 【 委 員 】話の中で「面接の時にラジオで話していると伝えるととても関心をもってもらえる」と、ありましたが貴重な経験ですよね。
- 【 放 送 局 】そうですね、その事はよく聞く話です。面接のときにとても強みになっていると学生さんから聞いています。
- 【 委 員 】学生さんだけでなく、FM たんとのパーソナリティも「公共の電波で話している」といった自覚を再確認した方がいいと思います。
- 【 放 送 局 】発言の影響力やクオリティを上げるために局としても教育していこうと思います。

6.次回の会議 令和8年5月(日時は未定)

7. 審議機関の答申又は意見の概要公表

自社ホームページに掲載(令和8年4月8日掲載)